

## The comments of KEY forum.

2日間にわたって開催した今回の「KEYフォーラム」には、約300名に参加していただきました。

熊本大学、京都大学、理化学研究所、慶應義塾大学、アカデミアシニカ(台湾)など若手からベテランまでさまざまな分野の研究者が集まりました。

今回参加していただいた皆さんの一言感想をお届けします。



ポスターを囲みながら盛り上がった意見交換



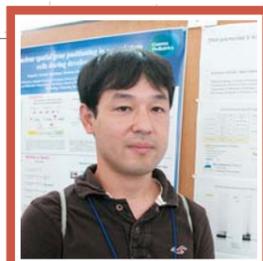
理化学研究所  
榎本秀樹 チームリーダー  
Hideki Enomoto

私は初めてフォーラムに参加しましたが、製薬につながる研究やその成功例など、興味深い発表が多いことに驚かされました。グローバルな視点で研究されているものが多いことに感心しています。



慶應義塾大学  
原田聖子 博士課程2年  
Seiko Harada

以前は糸教授の研究室にいたので、久しぶりの来熊です。今回はポスター発表を行いました。みなさんの口頭発表を聞いたり、ポスターを見て自分の研究にも生かせそうところをたくさん発見しました。



千葉大学  
唐田清伸 特任准教授  
Kiyonobu Karata

以前は小椋教授の研究室にいたので、その縁があって“発生研”と共同研究を進めています。今回はポスター発表を行いました。共同研究の成果を出して、次の研究に生かしたいですね。



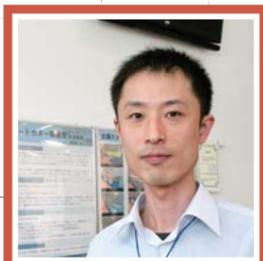
京都大学  
瀬原淳子 教授  
Atsuko Sehara

いろいろなアプローチからの研究について拝聴でき、とても有意義な時間でした。私はほぼ毎回、フォーラムに参加していますが、そのたびに新たな発見に出会います。学生たちにとっても良い機会になったのではないのでしょうか。



Academia Sinica  
Chia-Ning Shen 助教

今回のフォーラムには、熊本大学を拠点としてレベルの高い研究者が集まっていますね。たくさんの研究者と交流することができました。彼らの発表や意見交換を見ると、自分の研究につながる部分も多く、興味深かったです。



京都大学  
豊田太郎 助教  
Taro Toyota

この分野での研究を開始して初めての発表が、このような立派なフォーラムだったので光栄です。他分野の研究でも面白そうなものが多く、質の高い研究内容に終始驚きっぱなしです。さまざまなアプローチの仕方を見ることができて勉強になりました。



熊本大学  
大垣総一朗 修士課程2年  
Soichiro Ogaki

今回私は、シンガポールから来熊された、Nicholas Barkerさんのアテンドをさせていただきました。英語のカンペを作るのに2、3日かかりましたがいい経験ができました。熊本城を案内して、喜んでくれたことがうれしかったです。



## 研究者たちの一日

毎日、最先端の研究に取り組む、熊本大学グローバルCOEの研究者たち。コツコツとした日々の積み重ねが、大きな研究へとつながっています。そんな彼らは、どんな思いで研究を行っているのか、研究者の一日をのぞいてみましょう。



多能性幹細胞分野  
G-COEリサーチ・アソシエイト  
坂野大介  
Daisuke Sakano

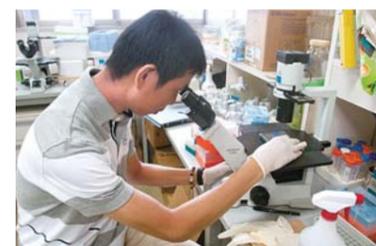
私の研究に対する興味は、生物や細胞が見せる“現象”の意味を理解したいということです。“現象”にはすべて意味があって、それはとても理にかなっている。今私が研究しているのは、膵臓にあるインスリンを分泌するβ細胞を、ES細胞やiPS細胞から作り出すことです。しかし、これがなかなか困難でさまざまなβ細胞以外の細胞もできてしまいます。いろいろな細胞が秩序立って存在しているのが臓器です。それは人間の世界でも似ているのではないのでしょうか。大学の周りには、やはり学生が多いからコンビニや飲食店、ファストフードなどが集まってくるし、観光地には土産物店がある。周囲に適応した街がつけられているという風に。

思い起こせば、学生のころは発生や細胞分化とは少し異なり、卵で越冬する昆虫の卵がなぜ凍らないのか研究していました。お酒が凍りにくいことは、知っている方も多いでしょう。昆虫もアルコールを細胞内に蓄積して、自分が凍らないようにします。春には必要のないアルコールは発生のエネルギーとして再利用してしまいます。とても合理的な現象ではないのでしょうか。

哺乳類の発生過程でも、それぞれの細胞の出現には意味があります。それを理解しβ細胞を効率的に作り出すことは、糖尿病の治療に役立つ研究です。自分の興味が将来、誰かの役に立つことを目指して努力していきたいです。



グループミーティングは、糸教授を交えたラボみんなでやる。研究の進捗状況を確認したり、アドバイスをもらったり



最近はほぼ終日、実験室で過ごしている



グループミーティングでもらった意見をまとめて、次のステップへ



この日の昼食は愛妻弁当。糸教授やラボのみんなと

